

職場体験プログラム

○職場見学や職場体験を通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けるとともに、学ぶことや働くことの意義について理解を深め、将来の夢や希望を育てる。

子どもの勤労観・職業観の未熟さや社会の一員としての意識の希薄さが指摘される中、将来自立していくために必要な能力や態度を身に付けさせるためには、発達の段階に応じた職場体験やそれを支える人々との交流の場を計画的に設定することが大切です。

本プログラムは、地域の産業である酪農や水産業にかかわる職場見学や体験活動などを通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けるとともに、学ぶことや働くことの意義の理解を深め、将来の夢や希望を育てることをねらいとしています。

職業キャンプの実践例（小学校第5学年～中学校第3学年）

1 概要

地元の企業や関係機関と連携した水産加工場の見学や酪農体験を通して、地域の豊かな自然環境や産業、それらにかかわる人々について理解を深められるようにしています。

参加者同士の交流を深めるため、グループ活動を多く取り入れるとともに、最終日には自分の将来について考え、意識させる「未来の履歴書」を作成する活動を位置付け、将来の夢や希望を育むことができるようにしています。

2 プログラム例

北海道の基幹産業である第一次産業を中心に、幅広い職場体験ができるようにしています。

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22	
1日目							集合	受付	開会式	企業見学 ・製菓工場 ・海産物販売会社 ・産業廃棄物処理会社 (貝殻再活用事業)	夕食	レクレーション	入浴 自由時間	就寝		
2日目	起床	朝食	土器復元体験				昼食	バターとパン生地作り		酪農体験	ホタテシチューと野焼きパン作り		夕食	入浴 自由時間	就寝	
3日目	起床	朝食	「未来の履歴書」作り		閉会式	解散										

3日間の体験をもとに、自分の将来をより具体的に考えさせます。

野外炊飯やパン作りなど、友達やサポーターと一緒に活動することを通して、仲間を思いやる気持ちや協力することの大切さを実感させます。